

2025年
1月

県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、拡大基調にある。**

●2025年1月 おきぎん「カトリア」景況図●



1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を上回り、中古車販売台数も前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

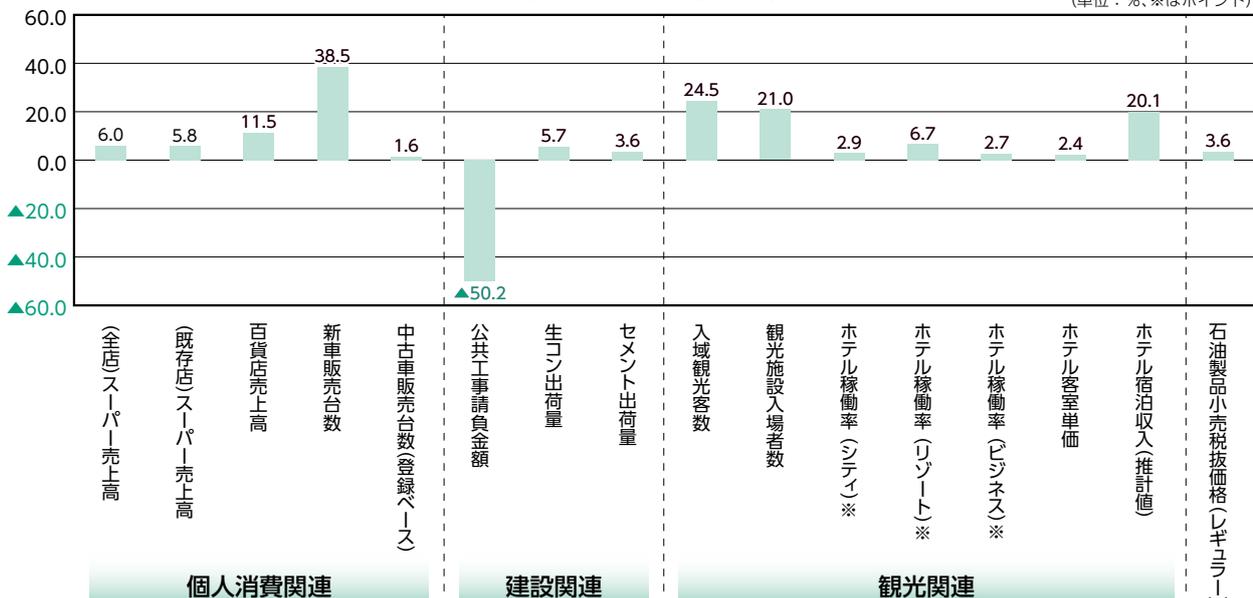
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから、前年及びコロナ前を上回る水準で推移する指標がみられます。よって、「**県内景況は、拡大基調にある**」と景気判断を据え置きました。

(2024年10月の上方修正から4か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同期比(増減率)

(単位：%、※はポイント)





個人消費



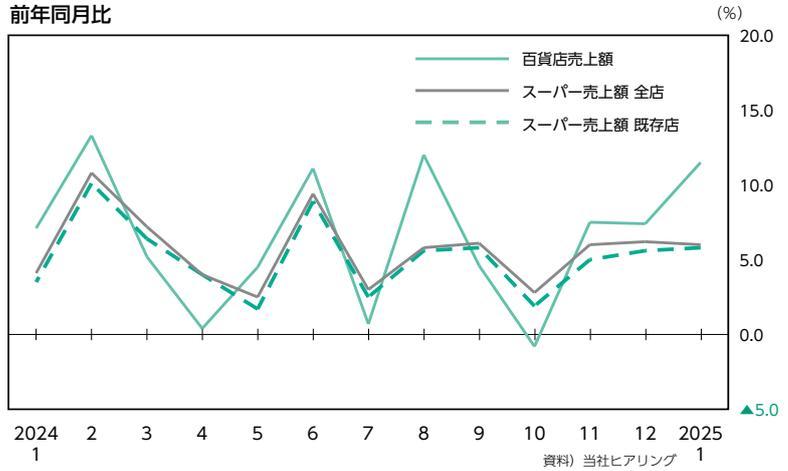
(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

1月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比6.0%増)」は、32ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同5.8%増)」は、店舗数の増加や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同5.1%増)」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同8.7%増)」は、店舗数の増加などにより前年同月を上回りました。

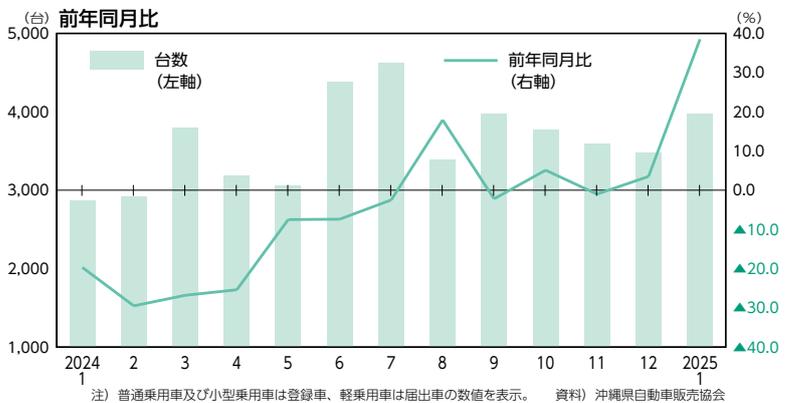
「既存店ベース(同5.8%増)」は、32ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同5.8%増)」、「衣料品(同5.5%増)」、「家庭用品(同5.7%増)」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、3ヵ月連続で前年同月を上回りました(同11.5%増)。品目別では、「食料品(同4.7%増)」は、前年同月を上回りました。「衣料品(同9.5%増)」、「家庭用品(同48.6%増)」、「雑貨(同17.7%増)」は、福袋商品の好調などにより前年同月を上回りました。全体の要因として、クルーズ船での訪日客を対象とした無料巡回バスの運行や春節の影響などにより、免税売り上げが増加しました。



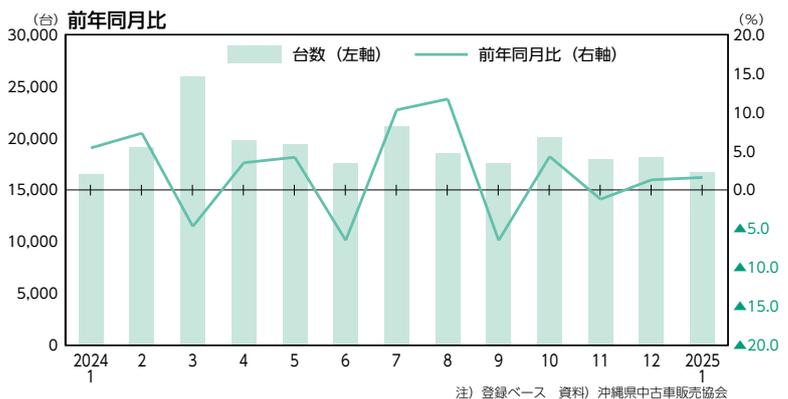
② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で3,970台(同38.5%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同39.2%増)」、「小型乗用車(同71.5%増)」、「軽乗用車(同37.9%増)」は、レンタカー台数の増加などにより前年同月を上回りました。



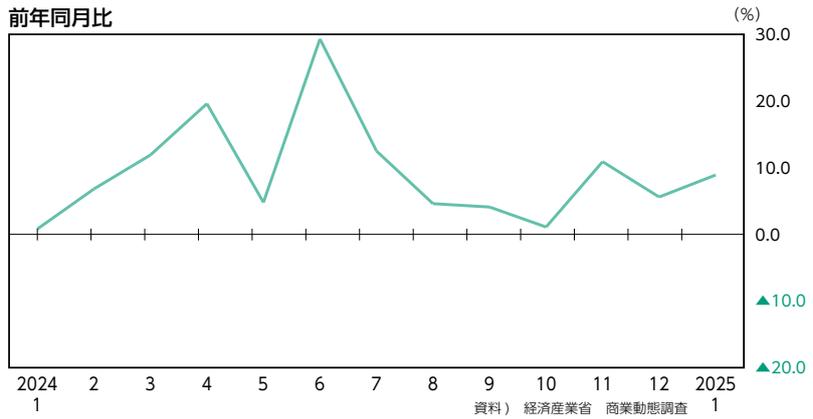
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で16,750台(同1.6%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同1.8%増)」は、前年同月を上回りました。「軽自動車(同1.4%増)」は、前年同月を上回りました。



④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。



建設関連

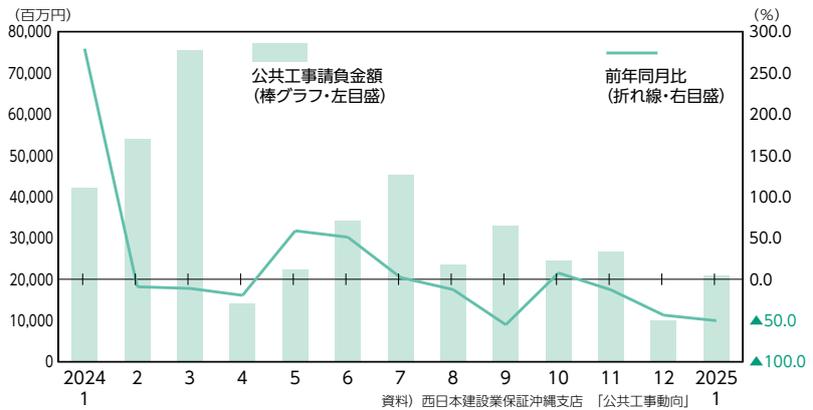


(ふつう)

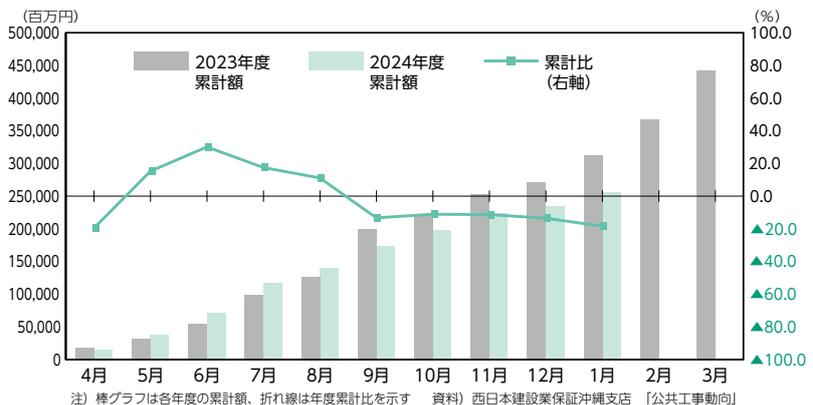
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

1月の公共工事請負金額は、前年同月比50.2%減の209億7,700万円となりました(3ヵ月連続減)。

発注者別でみると、「国(同87.4%減)」、「その他の公共的団体(同33.3%減)」、「独立行政法人等(同91.6%減)」は前年同月を下回りました。一方、「沖縄県(同142.5%増)」、「市町村(同14.9%増)」は前年同月を上回りました。



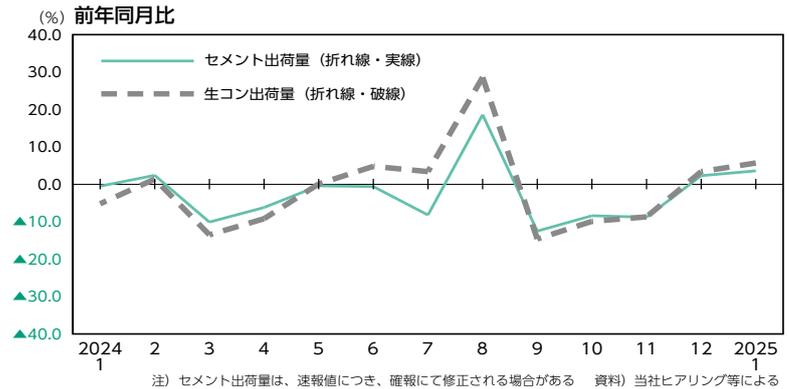
【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。





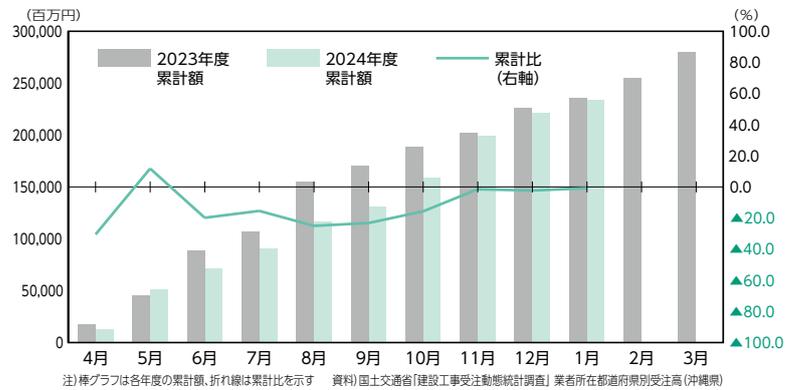
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は、5.7%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは、全地区での出荷が増加したことなどから前年同月を22.0%上回りました。一方、民間工事向けは、北部地区、石垣地区、宮古地区での出荷が減少したことなどから前年同月を2.5%下回りました。セメントの出荷量は、3.6%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。



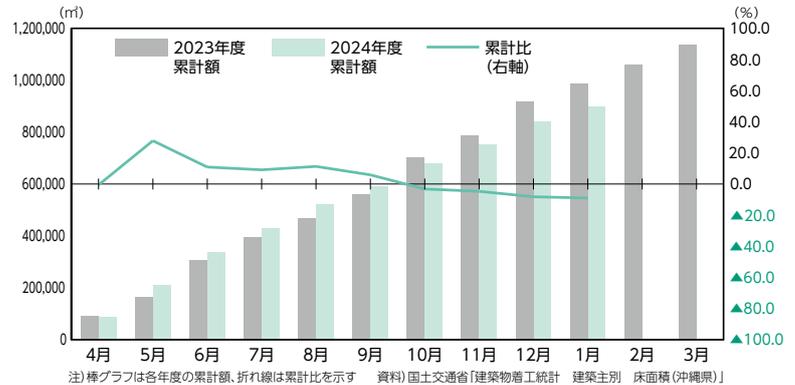
③ 【参考】民間等元請受注高(年度累計)…前年同期を下回る。

2024年度累計値では、0.8%減となっています。



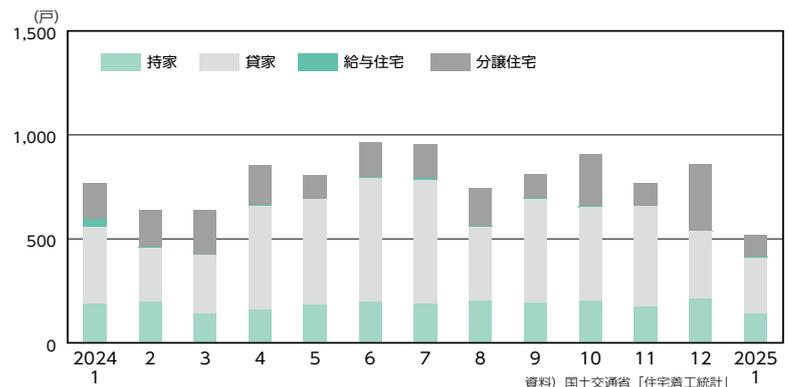
④ 【参考】民間着工建築物床面積(年度累計)…民間(会社+個人)着工建築物の床面積は前年同期を下回る。

2024年度累計値では、9.0%減となっています。



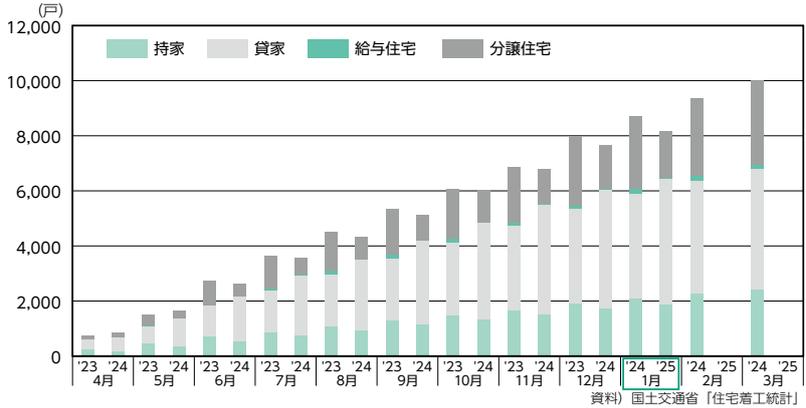
⑤ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

1月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比32.0%減の522戸となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同27.4%減)」、「分譲住宅(同35.7%減)」、「持家(同24.1%減)」、「給与住宅(同95.1%減)」は前年同月を下回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

2024年度累計値では、6.3%減
となっています。



観光関連



(やや良い)

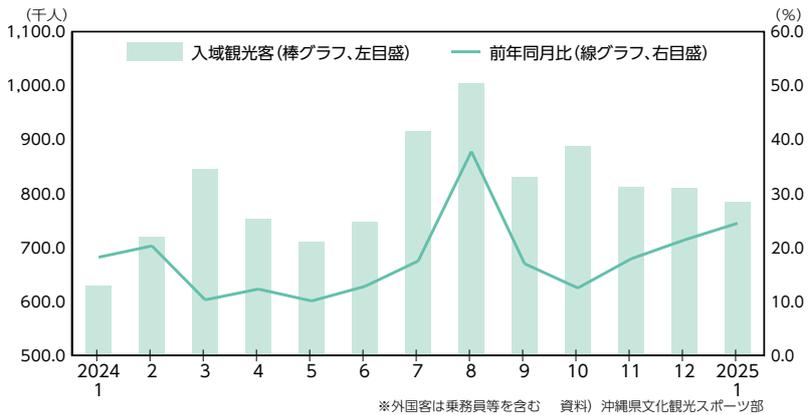
① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。

1月の入域観光客数は外国人観光客の増加などにより、1月としては過去最高の783,400人(前年同月比24.5%増)となり、38ヵ月連続で前年同月を上回りました。過去最高の入域観光客数は4ヵ月連続となっています。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、29,900人増加(4.0%増)と上回っています。

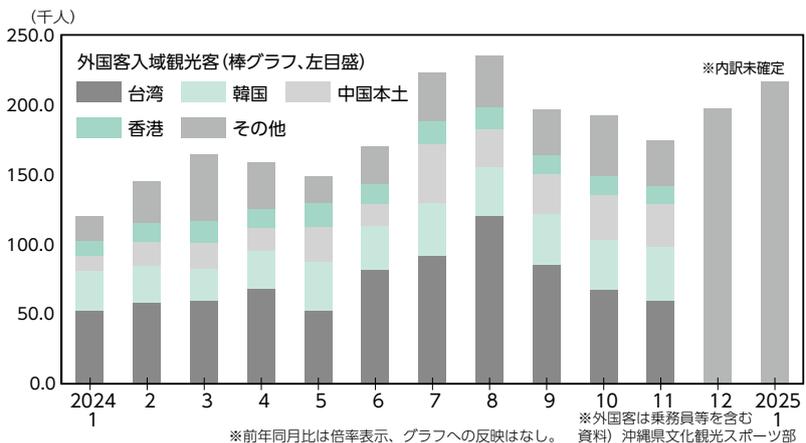
2019年同月比(国内客)では、43,100人増加(8.2%増)となっています。

2019年同月比(外国客)では、13,200人減少(5.7%減)となっています。



外国客 入域観光客数…前年同月を上回る。

外国客入域観光客数は、216,600人となりました(空路148,400人、海路68,200人)。今後も空路、海路ともに外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

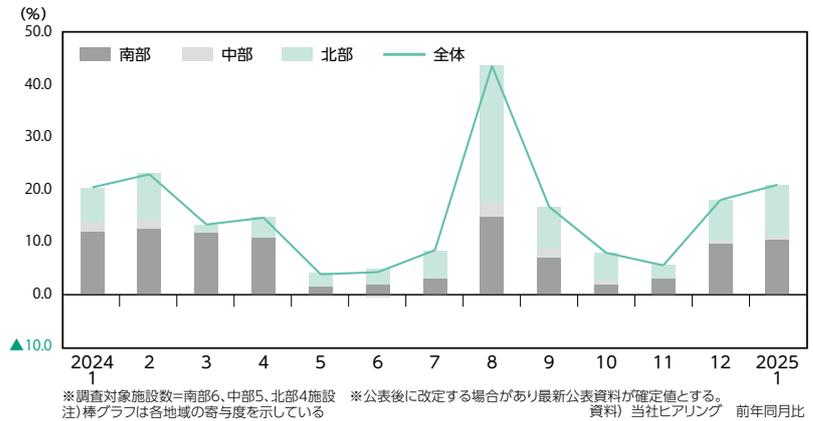




② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

1月の観光施設入場者数は、全体では21.0%増となり34ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別で見ると、南部の観光施設は28.0%増、北部の観光施設は19.5%増、中部は4.7%増となりました。

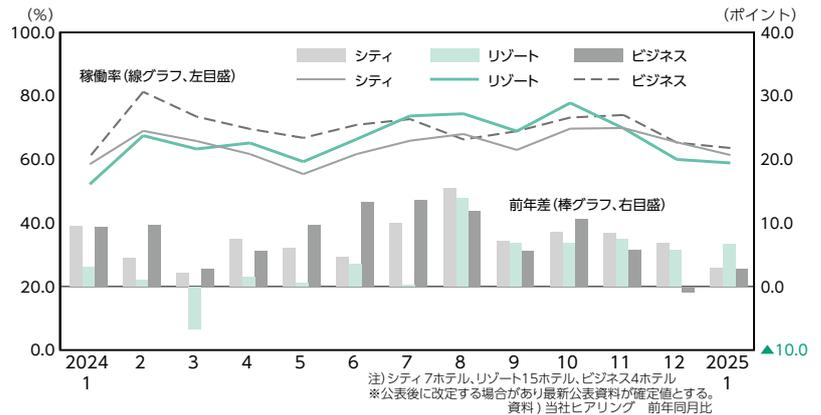
(参考)2019年同月比では、全体で9.8%の減少となりました。内訳では南部の観光施設は2.3%の減少、北部は9.6%の減少、中部は31.3%の減少となっています。



③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比2.9ポイント増加、リゾートホテルは6.7ポイント増加、ビジネスホテルは2.7ポイント増加しました。

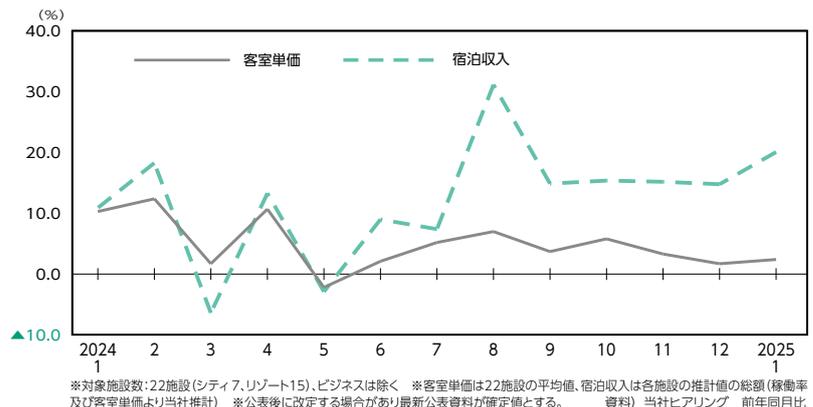
(参考)2019年同月比では、シティホテルは10.4ポイントの減少、リゾートホテルは9.3ポイントの減少、ビジネスホテルは6.4ポイントの減少となっています。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は2.4%増と8ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は20.1%増と8ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は20.5%の増加、客室収入は5.3%の増加となっています。





企業倒産

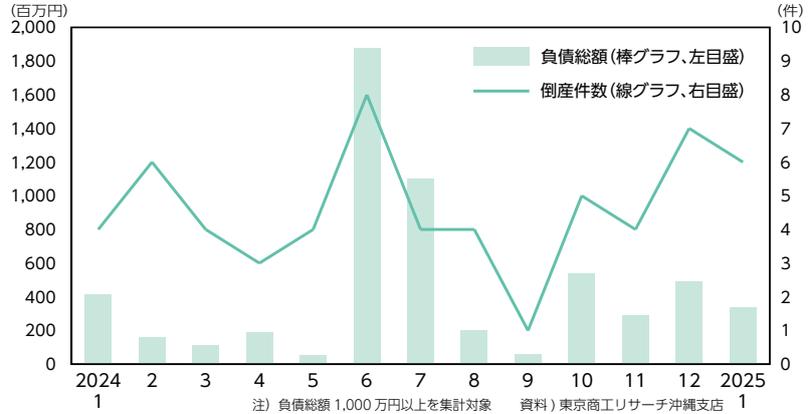


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

1月の企業倒産件数は6件（うち1億円以上10億円未満の大口倒産は1件）となり、前年同月より50.0%上回りました。

負債総額は3億3,600万円となり、前年同月より19.2%下回りました。



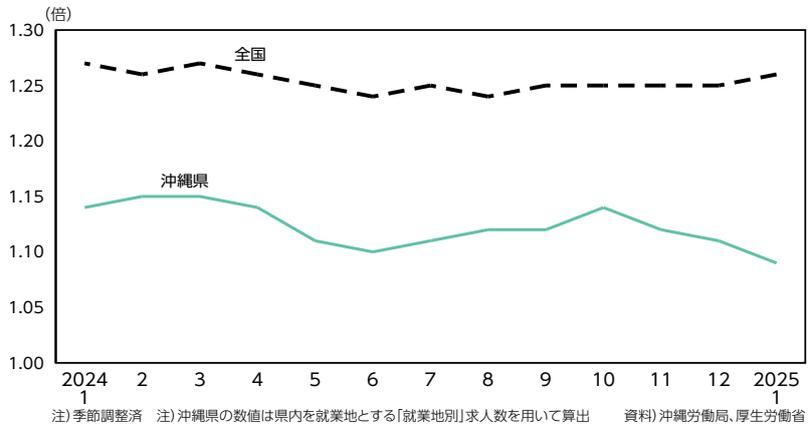
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月より低下、全国は上昇。

1月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比1.1%増の31,705人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比2.8%増の28,990人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.09倍と、前月より0.02ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄は前月より低下、全国は同水準。

1月の完全失業率（季節調整値）は、2.7%となり前月より0.3ポイント低下しました。

